



# アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数 ……1,300戸  
●人口 ……3,777人  
男性/1,866人 女性/1,911人  
令和8年1月31日現在



僕たち、  
私たち

## 4月から新1年生!

勉強も遊びも元気いっぱい頑張るよ!

### 出東こども園

出東こども園年長児「きりんぐみ」25名のみみなです。

この春、町内の3つの小学校へ入学します。

こども園で一緒に過ごし、たくさんの体験を通して、心も身体も大きくなりました。

1年生になっても、楽しい学校生活を送ってくれることでしょう。

これからも、いろんなことに挑戦して、元気いっぱい大きくなってね!!



## 人権について考えてみよう (Vol.11)



### —核兵器のない世界を目指し— ノーベル平和賞受賞の本間さん講演会を開催

昨年度ノーベル平和賞を受賞した被団協(日本原水爆被害者団体協議会)代表理事で、松江市在住の本間恵美子さんの講演会が12月6日(土)コミセンで行われ40人が聴講しました。

広島・長崎に投下された原爆の悲劇や、水爆実験で被爆した第五福竜丸のエピソードなどスライドを使って紹介。オスロで行われた授賞式のエピソードなどを交え、被団協が受賞した理由について、核兵器の非人道性を証言と

して伝え、核兵器の使用は許されないという国際的価値観を確立させたことなどが評価されたと話しました。

広島原爆投下後、母親が救護で入市したことで被爆。本間さんはその2世として初の代表理事となり、次世代がどう被団協の活動を引き継いでいくかが大きな課題だと強調。「戦争のない世界へ突き進んでいかなければならない。そのために一人ひとりがワンボイス・ワンステップ」を目指すことが重要だと締めくくりました。



12月  
9日  
12日  
火  
金

## 「むかし遊び」で広がる地域の輪



出東地区社会福祉協議会



出東小学校と出東子ども園でむかし遊びを通じた交流会が行われました。

12月9日(火)には小学1年生を、12日(金)に子ども園園児を対象に、地域の大人14人からこま回し、けんだま、ぺったん、お手玉、あやとり、おはじきと6つの懐かしい遊びを教わりました。

子どもたちは地域の人と自然に言葉を交わし、笑顔でふれあう姿が見られました。遊びをきっかけに世代を超えた交流が生まれ、顔の見える関係づくりが進むなど、地域づくりにつながる取り組みとなりました。

12月  
24日  
水

## 地域に笑顔をお届けます サンタがお家にやってくる!!



自主企画事業/地域づくり部

スタッフがサンタクロースに扮して、事前に応じのあった自宅を訪問する恒例の企画がクリスマスイブの夜に行われ、地区12世帯の子どもたちにプレゼントを届けました。

突然のサンタの登場に、子どもたちは驚きながらも笑顔を見せ、家族にとって心あたたまる時間となりました。プレゼントを手渡された子どもたちからは「うれしかった」、訪問する側の地域の大人たちからも「子どもたちの笑顔に元気をもらった」「明日もがんばろうと思った」という声が聞かれました。



12月  
27日  
土

## 想像以上の出来栄えに満足 ミニ門松づくり

自主企画事業/環境部

出東コミセンでは初の試みとしてミニ門松づくり体験を開催し、大人から子どもまで21人が参加しました。誰でも簡単にミニ門松が仕上げられるよう、スタッフは事前に材料の竹取りや飾り、試作を重ねるなど念入りに準備。参加者たちは講師役の環境部スタッフから手ほどきを受け、素敵なオリジナル門松に仕上げていました。参加者からは「想像以上の出来栄え。ぜひ来年も実施してほしい」との要望も。

身近にある素材で新年の玄関先を彩ることができ、環境への関心がほんの少しでも高まったのではと思います。



1月  
5日  
月

## 新春書初め会

出東地区青少年育成協議会



小学3年から中学校1年までの7人が参加し、コミセンで、新春書初め会が開かれました。同協議会の植田会長があいさつを述べた後、講師の藤岡牧雄さん、由理子さん、落合真由美さんの指導で、子どもたちはさっそく手本を見ながら筆を走らせ、真剣な面持ちで課題に取り組んでいました。

1月  
17日  
土

## みんなで楽しく あそボッチャ!!

自主企画事業/子育て部



出東コミュニティセンターで子どもボッチャ大会が開催され、小学生とその保護者24人が参加し、赤や黄色の球を投げ合いながら歓声のあふれる大会となりました。

ボッチャは年齢や体力にかかわらず誰でも楽しめるスポーツで、子どもたちは作戦を考えたり、仲間を応援したりしながら、真剣な表情で競技に取り組んでいました。

当日は地域のもちつき会があり、準備していた大人たちも急遽応援するなどし、世代を超えた交流の場となりました。スポーツを通じて子ども同士、そして地域とのつながりを深める、意義ある催しとなりました。

1月  
28日  
水

## 和やかに 新春昼食会が開催

出東ふれあいサロンの会

1月のふれあいサロンは、出雲空港ホテルで新年昼食会としてにぎやかに開催、46人の方たちが参加しました。

大正琴の愛好家グループ琴修会花てまりさんによる正月らしい華やかな演奏に合わせ、参加した人たちは一緒に歌を歌ったり、手拍子を打ったりと楽しんでいました。おしゃべりしながらいただく馳走に「今年も元気でいたいわね」との声があちこちから聞こえてくる、和やかな会となりました。



## 出東小学校の 「二宮尊徳像」と報徳教育

お話を訪ねて

## 出東歴史散歩 Vol.16



出東小敷地の片隅に  
ひっそりと建つ二宮尊徳像

昭和6年頃を中心に、郷土教育の必要が強く叫ばれたことがあった。出東小学校は、教員の中に足立源次郎氏、岡義重氏らの熱心な郷土研究者を持っていた。

足立源次郎氏は昭和3年に『出東村誌』の著作があり、岡義重氏は当時斐伊川三角州の研究を中心に研究活動を行っており、昭和6年には『斐伊川三角州発達之研究』を刊行する。

昭和8年度には、出東小学校が県下郷土教育の指導校に指定され、全県下の教師を集めて研究会が開催、出東小学校の名を有名なものとした。

ところがこの出東小学校の郷土教育は、自力更生運動のなかで報徳教育にとってかわられることになる。斐川各村は、昭和9年度から次々と経済更生指定村になっていくが、出東村は

特に教化指定村となり、昭和10年8月16日小学校校庭に建設された二宮尊徳像の除幕式を行って教化村としての出発をした。こうして出東小学校は教化指定村出東村の文字通り中心となったのである。

県は昭和11年1月、各小学校に対して報徳主義による学校経営をすべきことを奨励し、出東小学校に前後して、斐川の各小学校でも校庭に二宮尊徳像が建設されていった。そして報徳教育を実践するも、やがて戦争の進展とともに軍事教育へと移っていくこととなる。

以前小欄でも取り上げた、県道平田・荏原線にかかる多くの橋の名前は、指定教化村出東村の報徳精神に因むものとなっている。

## よいしょ！の掛け声も軽やかに 新春もちつき大会開催

出東地区自治協会

1月  
17日  
土

地域交流と地域の活性化を目的に、コミュニティセンターを会場にもちつき大会が行われ、約100人の人たちが来場しました。

事前準備には、コミセン専門部の方々や食のボランティアなどおよそ20人が協力し、もち米を蒸したり、ぜんざいの汁を作ったりと大活躍。

屋内・屋外2か所に用意された臼にもち米が入ると、参加者はさっそく順番で餅をつき、周りから「よいしょ！よいしょ！」と合いの手が入っていました。参加した小学生女子は「初めての餅つきで思った以上に難しかった。おもちはたくさん食べたけどね」と照れ笑い。

出来た餅は、砂糖醤油やきな粉、ぜんざいにして食べ、参加した人たちは和やかな新年の集いを楽しんでいました。



## 地域の課題と、地域づくりがテーマ 市長とまちづくりミーティング開催

出東地区自治協会・出東まちづくり会議

2月  
6日  
金



飯塚市長や伊藤、間島両副市長ほか市幹部を招き、市長とまちづくりミーティングが出東コミセンで行われ、地区自治協会役員と出東まちづくり会議のメンバーなど18人が参加しました。

スライドを交え自治協会三島副会長が出東地区の概要を紹介した後、人権・同和教育推進協議会嶋田副会長が、他地区よりも人口減少率が高いことや自治会運営の負担が多いことなど、6つの要点で地区の課題を発表。これに対し伊藤副市長から「出東地区は斐川町全体の4割の耕作面積で、食料自給率を高める国の政策上、市として重要な地区。交通対策については、佐田町で実証試験を行っているデマンド型の交通体系の導入も検討したい」また、自治会組織率が減少している点について「他地域では流入人口増加に伴い相対的に組織率が低下しているが、当地域では状況が異なる。市としても自治会が維持促進できるよう協力していく」などと回答がありました。

その後「魅力ある出東地区のまちづくり」と題し、発足して半年のたすけあい出東の活動を地区社協中間会長が、自治会ぐるみで環境保全活動を行っている松江分自然環境倶楽部について杉谷事務局長が、地域の潤滑剤あいさつ運動として地区青少年育成協議会常松副会長から、LINEを使ったグループ作りや地域活動について出東mama塾の堀内優子さんからリレー形式で発表が行われ、市幹部から「これからも出東地区の多様な地域活動を応援していきたい」などとコメントが寄せられました。

## 消火器の 使い方手順を再確認

コミセン自主防災訓練

2月  
12日  
木

“調理室から出火し職員の初期消火失敗”とのシナリオで、本年度2回目のコミセン自主防災訓練を実施しました。当日は、職員が消火器の場所や期限の確認、避難路に障害物が置いてないかなど確認、実際の訓練では職員が消火器を持って火元の調理室コンロめがけて模擬消火活動を実施しました。一方、サークル活動で利用中のエコクラブとグリーンリバーの皆さんには、館外へ避難誘導を行いました。

その後、屋外では職員とともに消火器の使い方を再確認しながら、的をめがけて放水する消火訓練を行い、参加した女性は「実際に家で使うとなると気が動転するうまいかどうか。そのためにも今日のような訓練が大事」と話していました。



### コラム

地域のために頑張っています!!

### 出雲市消防団 出東分団

分団長 井上 修

平素より消防団活動につきましてご理解並びにご協力いただいておりますこと、改めてお礼申し上げます。

現在、出東分団は団員38名と分団長ほか2名の41名で活動しています。

ここ数年、当地区での火災発生件数は減少しており、これも地域住民の皆さまの火災への意識が高まったことによるものだと思います。私たち出東分団も、啓発活動や警ら活動を通じて、火災が発生しないようさらに注意していきたいと考えています。

一方、近年の異常気象から大雨、大雪、台風、地震などの自然災害が多く発生しています。これらに備えるため、出東分団では、斐川東部方面隊で行う土のう積み訓練や、山火事を想定したポンプの中継訓練など実践的な訓練を重ねています。

少子高齢化に伴う団員不足や火災減少などの理由から、出東分団では、令和9年度より分団数4部制から2部制に、団員定数40人から20人にすべく消防団再編に向け検討中です。

今後も、地域との結びつきを強めて消防活動を行っていきたく考えていますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



斐川消防署での訓練の様子



西代橋付近で土のう積み訓練

出東コミュニティセンターでは、みんなで一緒に地域を盛り上げようと、6つの専門部それぞれで、年間を通じていろいろな楽しくタメになる企画を考え、実施しています。随時その活動内容を紹介していきます。

### 専門部 紹介

Vol.  
03

### 企画広報部

【令和6年度の主な活動】

#### 部員募集中!~あなたのアイデアで一緒に出東を盛り上げましょう~

こんにちは、出東コミュニティセンター専門部「企画広報部」です！  
企画広報部では、出東の子どもたちが喜ぶイベントや地域の皆さんのニーズを捉えたシニアライフ講座等を企画・運営しています。また出東の皆さんに情報をお知らせする広報誌「アンテナ出東」の発行を年4回行っています。  
今年度もこれまで「鉄道を学ぼう&陸上自衛隊出雲駐屯地見学」「出東地区文化祭のハロウィン」を自主企画事業として実施しました。  
また、広報誌「アンテナ出東」では、文字だけでなく、写真やイラストを多く掲載し、1面の「出東びと」のコーナーや「出東歴史散歩」など、分かりやすく親しみやすい紙面づくりに心掛けています。  
現在、部員は5名ですが、平均年齢が高く、「ほのって」活動していますので、「地域で何か活動してみたい」「広報誌を作ってみよう」という方、是非私たちと一緒に出東を盛り上げていきましょう。



▲文化祭の出東ハロウィン



▲鉄道を学ぼう



ご連絡はこちらまで 出東コミセン 電話0853-62-5033

## 子ども食堂 アンケート結果 ～お礼とご報告～

地域における「子ども食堂」の必要性や関心について把握するため、全戸配布とSNSを利用してアンケートを実施したところ460名の方から回答をいただきました。大変ありがとうございました。回答結果から以下の内容のとおりいただいたご意見をまとめましたのでご報告いたします。

アンケート結果の詳細につきましては、出東コミュニティセンターのホームページに掲載していますので、ご覧ください。

### 子ども食堂に関するアンケート結果(まとめ)

#### 1. 賛成意見

多くの方から子ども食堂の設立に対する賛同の声をいただきました。特に、国や行政の支援が重要であるとの意見が複数寄せられました。

#### 3. 具体的提案

食材提供に関しては、地域の農産物を活用する提案があり、開催場所としてはコミセンや自治会公民館の利用が推奨されています。また、名称変更や多様な利用者層の受け入れについての提案もいただきました。

アンケート結果から、今すぐにでも子ども食堂が必要という意見が2.6%でした。また、60歳以上の方の回答が52.8%を占めたこともあり、子どもに特化した食堂ではなく、高齢者も利用したいという意見が多く見受けられました。

このアンケート結果を踏まえ、地域の実情を大切にしながら、出東地区の人たちが世代を超えて集える場所として検討していきたいと思っております。出東にあった「地域の食堂」となるよう引き続き時間をかけて検討していきたいと考えています。なお、本アンケート結果につきましては、自治協会及び出東まちづくり会議で報告をおこないました。

最後に、アンケートにご協力いただきました皆さまに心からお礼申し上げます。

出東コミュニティセンター 子育て部 部長 古川俊之

#### 2. 懸念事項

ボランティア依存による運営や持続可能性に対する不安が指摘されています。また、「子ども食堂」という名称が利用者層を狭めるのではないかと意見もありました。

#### 4. その他の声

高齢者支援の必要性や地域実態調査の重要性を指摘する意見がありました。加えて、より多くの人が気軽に利用できる環境作りが求められています。



### 自動販売機撤去のお知らせ

コミセンに設置されているダイドー自動販売機が3月23日(予定)で撤去されることになりました。ダイドードリンコ様は、平成26年から災害時の飲料水提供を目的に出雲市と災害協定を結んでいます。今回市内各コミセンに設置してある自動販売機のコスト等を再点検し、出東コミセンを含め多くのコミセン他の施設で撤去となるものです。ただし市との災害協定は今後も継続しており、同社では災害発生時のペットボトル搬入には可能な限り対応したいとしています。

### 二十歳になられた皆さん、おめでとうございます。

出東地区自治協会では3年前より、1月の「二十歳の集い」式典を迎えられる二十歳の若者たちに、次世代の出東を担っていただくとの思いから、自治協会長からお祝いのメッセージを添え、出東地区の地図をデザイン化したオリジナルトートバッグを贈っています。今年度は19名の新成人に各自治協会長の方々を通じお渡ししました。



つながる出東・未来の担い手企画

Follow Me! //



Instagram

出東コミュニティセンターのInstagramやってます！最新情報をアップしています。フォローよろしくお祈りします。



SHUITOUCC

### INFORMATION

### 出東コミュニティセンターから

出東コミュニティセンターや地域各団体の主催事業・活動で、撮影した写真をアンテナ出東や、コミセンホームページ、インスタなどのSNS等で掲載させていただく場合があります。あらかじめご理解よろしくお祈りします。

## コミュニティセンター 貸館使用料改定のお知らせ

出雲市の施設は、利用する方の使用料と市民の方々の税金などの公費によって賄われています。一方、人件費や昨今の物価上昇を受け、施設の維持管理費は増加しています。そこで市の統一的な使用料に改めるため、令和8年4月1日より出東コミュニティセンター施設使用料も改定となります。

部屋名	使用料 (円/時間)	
	現行使用料	改定後使用料
集会室	1,520円	2,200円
研修室	810円	1,200円
やすらぎホーム	500円	700円
調理室	500円	700円

冷暖房を使用した場合は、使用料の3割相当額が加算となりますので、ご了解をお願いします。

なお、従来通りコミュニティセンター関係や各種地域団体、事前に団体登録をされているサークル等は、無料でご利用になれます。

### 出雲市コミュニティセンター 団体育成助成団体募集!



- 対象 営利を目的としない地域活動及び事業を積極的に行っている団体・グループ
- 目的 各種団体の育成支援を行うことにより、地域の活性化につなげる
- 助成額 助成金額10万円から、審査後2～3万円程度を申請団体に配分します。(助成対象期間は概ね3年を限度とします)
- 申込期限 令和8年4月10日(金)

助成をご希望される団体・グループの方は、出東コミュニティセンターまで、お問い合わせください。



## The Voice

～皆さまからの声～

気象庁が「気象百五十年史」を公表している。日本で気象業務が始まった明治8年6月から150年の記念史で、気象業務の変遷の記録などをまとめている。

降水確率予報の開始は1980年、台風進路の予報円方式は82年の採用。2007年には緊急地震速報の運用が始まった。より正確で分かりやすい防災情報は命を守る行動の前提となる。気候変動の激化で線状降水帯の発生や台風進路の予測精度向上は急務である。

一方、100%の予測精度は不可能であり、「ハズレ」を容認する社会が防災力向上を後押しする。百五十年史は大正時代から親しまれていた新聞やラジオの天気予報が、太平洋戦争中は「軍事機密」として禁止された旨を紹介している。天気予報が得られる日常に感謝しつつ、今日も携帯で気象情報を確認する。

(三分市 50代 男性)

皆さんの声を募集しています!!

### 香典返しご寄付配分について

香典返しのご寄付は、随時出東コミュニティセンターで受け付けています。地区自治協会に納めていただいたご厚志は、出東地区社会福祉協議会ほか、地域の社会福祉事業に活用させていただいています。

運用については、申請があった団体に対し、毎年8月と2月の香典返し寄付配分委員会で慎重に審議し配分しています。希望される団体は出東コミュニティセンターまでお申込みください。

### ご寄付お礼

皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区自治協会を通じ地域の福祉事業に活用させていただいております。

- 香典返し 金一封 錦織 朝文 様(灘西)
- 香典返し 金一封 高根 康友 様(三宅島)
- 香典返し 金一封 古川 幸希 様(有信)
- 香典返し 金一封 福島 建次 様(中洲中央)
- 香典返し 金一封 多久和敏男 様(砂川)

ご厚志誠にありがとうございました。